



あかまつ

令和5年度

第11号

令和5年6月16日

《学校教育目標》 夢に向かって 本気で チャレンジ! 笑顔の花さく 南っ子

「親子ふれ合い花壇」「人権の花」苗植え作業 14日(水)



今年も自慢の学校花壇で花を育てる時期になりました。先週の耕起作業では〇年 〇〇〇〇さんのお父さん・お母さんにお世話になりました。ありがとうございました。

14日は夕方からの苗植えに間に合うようにと、PTA 役員、体育・整備部員の方々がたくさんの苗を並べてくださいました。午後6時からの作業は、横沢地域の皆さんの頑張りのおかげで、広い花壇に次々と苗が植えられました。親子で声をかけ合う姿や、クラスの仲間同士で植える姿など、花壇

を中心としてたくさんの笑顔が交わされ、とてもよいひとときを過ごすことができました。ありがとうございました。

今年度のデザインの最優秀賞は、〇年生の〇〇〇〇さんの『ひまわり』というテーマのデザインです。デザインの説明には、「太陽のように、明るい気持ちで過ごせるように願いを込めました」とありました。赤、オレンジ、黄色、白の花が咲き、太陽のように美しく輝く太田南小親子ふれあい花壇としていきたいと思えます。

4年FW「浄水場と下水処理場に行こう」



13日(火)、上下水道の仕組みを理解し水の使い方の見直しや有効利用の大切さを学ぶために、4年生が大曲西根の宇津台浄水場と花館の下水処理施設の見学に出かけました。

浄水場では、【世界に190あまりある国の中で、水道から安全な水をごくごく飲めるのは何カ国あるでしょうか。】というクイズが出されました。そんなに多くはないだろうと予想していた4年生も、答えが【日本を含めて9カ国】と聞き、とても驚いていました。浄水場では、どんなふうに安全な飲み水を作っているか、

何人で監視しているか、一日でどのくらいの水をつくっているのか…、また下水処理場の方ではドロドロの下水は微生物の力を借りてきれいな水にしてから川に流していること等を学びました。

普段何気なく蛇口をひねり、手を洗ったり、のどが渴けば水を飲んだりする私たち。その陰には、安全で安定的に水を供給できるよう、たくさんの方々が関わっています。下水も同様に、地域の人々の健康な生活の維持と向上のための重要な施設であることが分かりました。

9カ国の中の日本に暮らせていることは、とても幸せなことですね。

1年生 栄養・給食指導

12日(月)、栄養士の〇〇〇〇先生をお迎えし、1年生が栄養についての学習を行いました。「給食を調べて、元気もりもりになる作戦を考えよう」のめあてのもと、栄養素を赤・黄・緑と色分けをしながら当日のこんだてを仲間分けする活動に、1年生は好奇心いっぱいに取り組んでいました。先生に色分けのヒントをもらって「これはきっと黄色だ!」と答えを見つけていった子どもたち。楽しみながら学んだ1時間でしたが、給食は栄養のバランスがとれていることにも気がついたようです。この学習をきっかけに、栄養も考えて食事をする心を心の中に置いてくれるとうれしいです。



2年「まちたんけん」

14日(水)



身近な地域に出かけ、友達と協力しながら、地域の人にインタビューをしたり、地域にあるものを調べたりして、それらが自分の生活と関わっていることに気付くことをねらいとして、2年生が生活科「まちたんけん」へ出かけました。

南小の近くにはコンビニやドラッグストア、駐在所、郵便局などがあります。3つのグループに分かれ、地域学校協働活動推進員の倉田吹紀子さんにコーディネートいただき、地域の方の協力を得ながら、まちたんけんを実施することができました。受け入れてくださった太田駐在所、太田図書館、太田郵便局、マックスバリュ、加藤モータース、ファミリーマートの皆様、本当にありがとうございました。

2年生にとって貴重な体験となった1日です。



いただきました「あさがおのたね」



「紫のあさがおを太田に広めたい」という〇〇〇〇様と〇〇〇〇様(太田町齊内在住)より「あさがおのたね」を80袋いただきました。今日、PTA 会員数の67袋を児童に配付しました。

あさがおは、たねを植えて30~60日で開花するそうです。今植えると7~8月の真夏に花を咲かせそうです。ご家庭にプランターや鉢がありましたら植えてみてはいかがでしょうか。お庭に植えてグリーンカーテンにするのもいいですね。「はなのまち おおた」にふさわしい贈り物をいただきました。